

別記 (二)

回答書

貴要於條項十一ヶ條ニ對シ處方ニ於テ誠意ヲ以テ査査シタル外各條項ノ内容ハ複雑多岐ヲ極メ日本ノ國體ニ淵源スル特殊の現象ニ適應セザル点多ク且ツ貴要本ノ理由トナルベキ根據ニ付充分ニ理解シ難キ点多ク有之候

例ハハ

(一) 既ニ處方ニ於テ勵行シツハアルモノ

(二) 政治的ニ解決スル以外道ナキモノ

(三) 國內非常時ノ變態タル中小企業ノ悲境ニ因由シ政府ノ非常時對策ニ依リ累氣好轉ヲ待ツニ非サレハ經營難ト苦斗スル個々ノ事業トシテハ

全ク理想案ニ過ザサルモノ

(四) 處方從業員三十數名ノ利害休メノ爲メ承認シ難キモノ

以上ノ如ク包摂的ニ簡單ニ取扱ヒ兼不候ニ付 處方ニ於テモ慎重ニ御再考ノ

上十二分ノ理由ヲ附シ改メテ處方ニ御折衝相成度候

右及回答候

昭和九年八月七日

日本光染株式會社

第幾團御中

追而右回答ニ基ク理由付要求書ハ即時郵送相成度候

勞秘茅一八六四號

昭和九年八月二十日

警視總監 藤 昭 庄 拜



事務大臣 後藤 文 夫 殿
社 會 局 長 官 殿

日本光染株式會社労働争議ニ関スル件 第二報

一 職場筆談ニ付タル江沢清太郎以下十名對シ本月十日東京會社以テ新屋吉茂(江沢會同

五月十日三枚手用他八千紙

要旨

一 會社側本月十五日連日郵便ヲ以テ要求ニ對テ回答書ヲ要同労働標本部ニ郵送セリ

一 争議周圍ハ新屋吉茂等依リ争議ヲ起シタル根據ニ付異行動ナリ

標記會社ノ争議其ノ後ノ状況左記ノ通

記